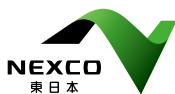
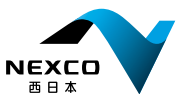
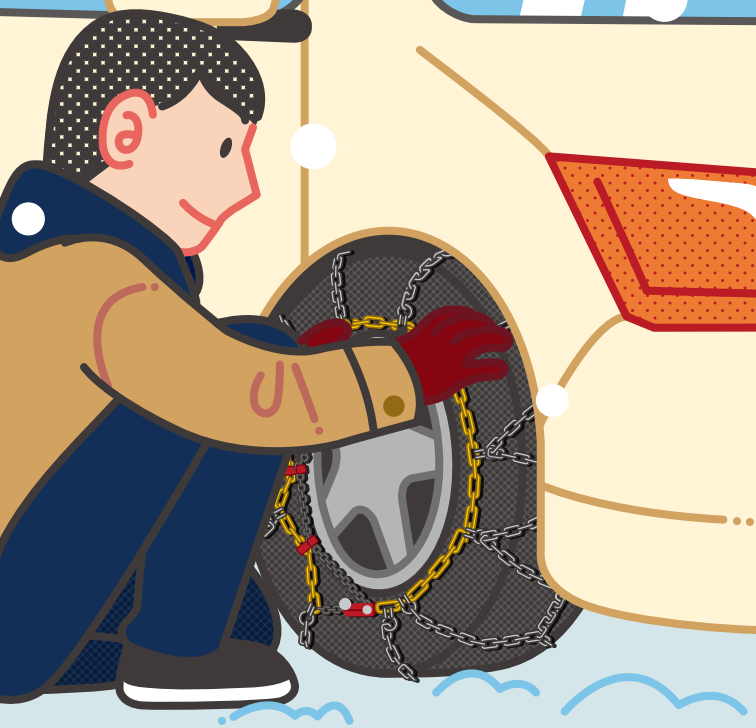


＼冬装備を万全に細心の注意で安全運転！

雪用心





冬、日本列島の約半分は雪の中。高速道路も多くが降雪地帯を通過しています。NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本では、除雪作業などを通じ、お客さまに安全で快適な雪道走行をしていただけるよう努めていますが、雪道での交通事故は後を絶ちません。

雪道はすべりやすく“急”のつく運転をしては危ないこと、また降雪・吹雪などで見通しが悪いため車間距離を十分にとりスピードも控えめにしなければ危険なことは、誰でも知識としては持っています。しかし実際の事故の多くはスピードの出し過ぎ・車間距離不足のなかで発生しています。また、自身の運転技術や車の性能を過信し、普段と路面状況の異なる雪道での思わぬ動きに対応できず事故となってしまう場合もあります。あなたがこれまで雪道で事故に遭わなかったとしてもそれは運がよかっただけかも…。

雪道の運転には、初心者もエキスパートもありません。この小冊子「雪用心」をよくお読みのうえ、セーフティドライブをお願いします。



雪道の安全運転心得

- ① 運転技術や車の性能を過信せず
- ② 先を読み
- ③ 無理をせず
- ④ 冬用タイヤ装着など 早めの冬装備を手掛けてください

カーブの手前

カーブ手前は減速し、急ハンドル・急ブレーキは厳禁!

冬の高速道路 こんな場所には特に注意!

日陰の路面

日陰になっている所は、気温が低く凍結しやすい。

長い下り坂

スピードが出やすい。スピードダウンと車間距離を。

橋の上

吹きさらしの風で凍結が多い。スリップに要注意!

トンネルの出入口

風が強く、突然の降雪も。トンネル内は凍結しやすい。

CONTENTS

■ 雪道に“習熟ドライバー”は存在しない	01-02
■ 高速道路網と最大積雪深図	03-04
■ 雪道には冬用タイヤを!チェーンの携行も忘れずに!	05-07
■ 面倒くさいが『トラブル』のはじまり	08
■ 急がず、無理せず、ゆとりのドライブを	09
■ “過信”の陰に“危険”がひそむ	10-11
■ 除雪作業へのご協力をお願いします	12
■ 雪道の頼りは、情報のキャッチから	13-16
■ お出かけ前にチェック	17-18



高速道路網と最大積雪深図



冬期、西高東低の気圧配置になると、大陸からの強い季節風が日本海の湿気をたっぷり吸って、北海道から東北、北陸、山陰にかけての日本海側に大雪を降らせるのが、冬の典型的な降雪パターンですが、太平洋側でも低気圧の通過でしばしば降雪になることもあります。

また、地形などの地域の特性によっては、降雪が局地的であったり、急変する場合があります。私達の日本列島は、低気圧や寒気団の到来によって雪の降り方が様々です。ドライブ前には気象・道路情報の入手を心掛けてください。



降雪時、 タイヤチェーンを装着していない車は、 高速道路を通行できない場合があります!




全国にネットワークが広がる高速道路。冬になると出発地は晴れていても目的地や通過地点で雪が降っていることもあります。冬の高速道路では、スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。また、これらの装備が万全であっても絶対に滑らないという確証はありませんので、スピードを控えるなど一層の安全運転を心掛けましょう。

ひと口に積雪、凍結といっても、「ベタ雪」「サラサラ雪」「新雪」「圧雪」「シャーベット」「部分凍結」などがあり、地域や場所、気温や降雪量、時間帯、日なたと日陰の違いなどによって様々な表情をもっているのです。積雪、凍結時におけるチェーン、冬用タイヤなどすべり止め装置装着については、道路交通法にもとづき各都道府県公安委員会が運転者の遵守義務を定めていますが、気象条件の異なる地域を連続して高速で走行する高速道路では、この規則を守るだけでは十分とは言えません。やはり、いざという時のために、「**全車輪とも冬用タイヤ**」(大多数の都道府県において定められている)にすることにより安全性が高まり、高速道路の事故防止につながることであります。また、**積雪量や凍結状況によっては、全車輪が冬用タイヤでもチェーンを装着しないと走行できない緊急措置が行われることもあります**。冬の高速道路では、どの地域にお住まいの方も冬用タイヤの装着はもちろん、万が一の事態に備えて必ずタイヤチェーンを携行してください。

●滑りやすさはこんなに違う●

摩擦係数

0.7~0.9乾燥路 

0.2~0.4圧雪路 3.2倍 

0.1~0.2凍結路 5.4倍 

0.1未満凍結路 (つるつる凍結路面) 8.0倍 

注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほどすべりやすいことを意味しています。

資料：(一社)日本自動車タイヤ協会



●スタッドレスタイヤ

スパイクタイヤと異なりスタッド(金属びょう)のないタイヤ。低温でもしなやかさを失わない特殊配合ゴムを採用、溝の形、切り込み(サイピング)を改良し、従来のスノータイヤよりも制動性能が大幅に向上しています。



●スノータイヤ

雪や凍結路面での制動を良くするため、普通のタイヤより表面に大きな凹凸をつけ、広くて深い溝で確実に雪をつかめる(グリップできる)ようにしたタイヤです。



●タイヤチェーン

スタッドレスなどの冬用タイヤに比べ、最大の制動効果を上げることができます。冬用タイヤといえども、決して万能ではありません。降雪の状況によって、全車両チェーン装着規制が実施される場合もあります。タイヤに頼らず必ずタイヤチェーンを用意してください。



※冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ、スノータイヤ)の側面(サイドウォール)には、STUDLESS又はSNOWの文字があります。

※オールシーズンタイヤ(側面にM+S、M.S、M&S又はM/Sの文字がある)は、ある程度までは積雪路面にも対応可能ですが、冬用タイヤに比べ制動性能が劣るため、降雪状況によっては走行できない場合があります。



チェーン装着時の注意事項

事前の確認を忘れずに!

必ずタイヤのサイズにあったものを選び、説明書に従い、事前に装着のりハーサルをしておきましょう。実際の装着は寒い雪の中。練習しておくことで、スムーズに作業ができるようになります。

確実な装着と十分な点検を!

チェーンの緩み、ゴムバンド等のフックへの掛け忘れはチェーン脱落の原因となります。また、チェーンの磨耗・損傷はチェーン切れの原因となります。

スピードの出し過ぎは要注意!

スピードの出しすぎは、チェーンの膨れ上がりによる車体への接触でチェーン切れの原因となります。また、走行中、異常音(ピチピチ・ゴツゴツなど)がしたら要注意。

タイヤチェーンはこまめに着脱を!

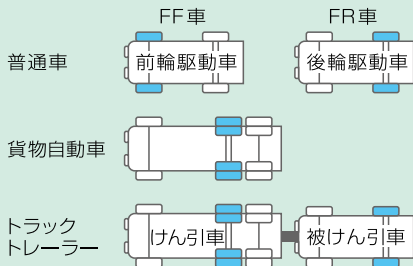
「チェーン装着」の表示を見たら、最寄りのSA・PAがチェーン着脱場でチェーンを装着しましょう。本線上での装着は大変危険です。また、長大トンネル等では、チェーン切れ防止のためチェーンを外して走行して頂く区間があります。こまめな着脱にご協力をお願いします。

冬用タイヤ・チェーンの正しい取り付け位置

■冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ・スノータイヤ)の場合



■チェーンの場合



※チェーンの場合FF車は前輪に、FR車は後輪に装着してください。また、4WD車(四輪駆動車)は基本の車体構造(FF or FR)によって装着輪が異なるため、各車両の取扱い説明書で確認してください。

CHECK!



ドライブ前の点検・整備

✓ バッテリー

出発前、ガソリンスタンドなどでチェックしてもらいましょう。

✓ 不凍性軽油

零下10℃以下では、普通の軽油は凍結することがあります。寒冷地に入る前にディーゼル車は不凍性の燃料を補給。

✓ 燃料は満タンに

雪道では、普段より燃料消費が早いもの。燃料計を常にチェック。

✓ ワイパーブレード

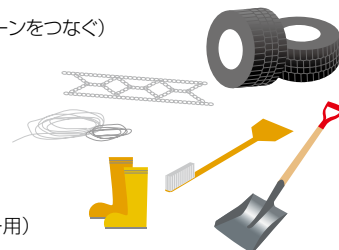
キズや割れ目はないか。できれば雪に強いウインターブレードに交換。

✓ ラジエーター&ウォッシャー液

不凍性のものを選択。ウォッシャー液の補給も忘れずに。

“冬装備”チェックリスト

- 冬用タイヤ(スタッドレスタイヤまたはスノータイヤ)
- タイヤチェーン
- 針金(切れたタイヤチェーンをつなぐ)
- 作業用手袋(軍手)
- 長靴
- 毛布・タオル類
- けん引ロープ
- スコップ
- スノーブラシ
- 解氷剤(かざ穴、ワイパー用)
- 輪止め
- ブースターケーブル(ディーゼル車またはディーゼル用のコードを用意)
- 懐中電灯
- 携帯トイレ
- 飲料水
- 非常食



急がず、無理せず、ゆとりのドライブを

時間にゆとりのあるドライブ計画を…

雪に出会うと、慌てたり、早くそこら抜け出そうと急いだりして、無理な運転をしてしまいがちです。それは雪道に慣れないドライバーほど陥りやすい心理です。また冬の高速道路では、速度規制や通行止めのケースもありますので、ゆとりのある走行計画を立ててください。



休憩もしっかり

無理をして先を急がず、いつもより多めにSA・PAで休憩をとり、車体やライトの雪落とし、スキー・スノーボードなど積載物のチェック、気象・道路情報の確認もお忘れなく。



零下のガス欠は一大事！早めの給油を…

速度規制や事故で渋滞・ストップをしても、暖房のためエンジンには止められません。零下にもなる中でガス欠を起こしてしまうと、寒さで凍える大ピンチ！SA・PAのガソリンスタンドで早めに給油をしましょう。雪国のスタンドでは、チェーンやゴムびき軍手などを販売しているところもあります。

屋根の雪を落としてから走行を！

車の屋根の上に雪を高く積もらせたまま走行すると、高速道路を走行中に落下して後続車が乗り上げるおそれがあります。また、雪の塊を避けようとして事故につながることもあるため、走行前には必ず屋根の雪を落としてください。



キャリアがゆるまないように

スキー、スノーボードキャリアはしっかり取りつけてください。また、スキー板の取り付けは、テールを必ず前方に。途中のSA・PAで、ゆるみがないかチェックしましょう。

積荷のチェックを！

貨物車の場合は、偏った積載による横転や、タイヤ空転などのおそれもありますので、積荷の状況にも十分ご注意ください。

“過信”の陰に“危険”がひそむ



車の性能に神話はない

4WD(4輪駆動)、TCS(トラクション・コントロール・システム)、4WS(4輪操舵)、ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)など、車の高性能・高機能化が進んでいます。しかしこれらは、あくまでも「走る、曲がる、止まる」という車の基本的な動きを助ける、付加機能に過ぎません。現実の雪道、凍結した路面には、テクニックもテクノロジーも通用しない、“予期せぬできごと”がひそんでいます。なによりも過信しない運転、無理しないドライブを心掛けてください。

うごけない…



災害対策基本法に基づく車両の移動等について

豪雪による災害発生時、災害対策基本法第76条の6の規定に基づき、対象となる区間を指定のうえ、区間内の放置車両・立ち往生車両を移動させて頂く場合があります。

災害対策基本法に基づく車両の移動は、緊急通行車両の通行の妨げとなり、災害応急対策の実施に著しい支障を生じさせる場合に実施する緊急措置です。ご理解とご協力をお願いします。

FFもFRも雪道では同じ

FFは前輪駆動車、FRは後輪駆動車。エンジンとつながる駆動輪がどちらについているのかわかりません。一般的にFFの方がカーブ時の安定性が良いとされていますが、それは乾いた路面でのこと。FF神話も、また成立しないのです。なお、タイヤチェーンは駆動輪の両輪(FFは前輪、FRは後輪)に取りつけます。



雪道での“急”は厳禁！

- 急 ハンドル
- 急 加速
- 急 ブレーキ

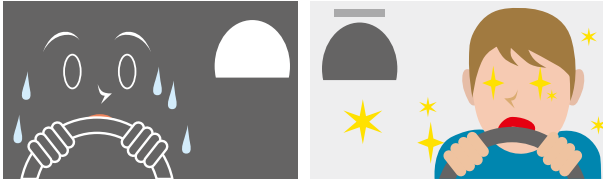




雪道で遭遇する思いがけないこと

▲ ブラックホール、ホワイトホール現象

明るい雪晴れの道から暗いトンネルに入ると、目が慣れずに真っ暗に感じるブラックホール現象。逆に、暗いところから明るいところに出て眩しさで目がくらむホワイトホール現象。サングラス等を用意して状況変化に備えましょう。



▲ わだちはハンドルを取られる

踏み固められた圧雪状態の路面は、傾いていたり、凸凹していたり、わだちができていたりします。こんなところでは予想もしない方向に車が向いてしまうことがあります。

▲ アイスバーンはスケートリンクと同じ

アイスバーンの路面は、乾燥路面の8倍もすべりやすく、一度すべり出したらほとんどコントロールが利かなくなります。

▲ シャーベットは急にすべり出す

雪の降り始めや雪解け時に起きるシャーベット状態。タイヤの溝に雪がまった時など、突然すべり出します。

▲ 地吹雪で前が見えない

地吹雪は地上2メートルくらいまで巻き上がります。トラックなど大型車は平気なのに、乗用車は前後左右の視界が完全に失われることがあります。

▲ 雪はねで目の前真っ白

大型車などと並行して走っているとき、車輪で雪をはねられ、一瞬目の前が見えなくなることがあります。あわてて急ブレーキや急ハンドルなどの操作を行わないようにしましょう。

▲ ワイパーが浮き上がって利かない

フロントガラスに湿った雪がたまり、ワイパーを浮き上がらせ、動いていてもまったく利かなくなることがあります。出発前にアイスクレーパーなどでフロントガラスの雪や氷を除去してください。

▲ ヘッドライト、テールランプに雪が付着

前が見えにくく、後ろの車からも確認しづらいため危険。SA・PAでこまめに除去してください。

▲ タイヤハウスに着氷

走行中に跳ね上げた雪が、タイヤハウスに付着して氷のかたまりに。ハンドル操作の妨げになります。大きくなる前に取り除きましょう。

除雪や凍結防止の作業に遭遇したときは？



道路の雪を取り除き、凍結しないように凍結防止剤を散布する作業を行っているもので、複数台で車線をふさいだり、時速50km以下の低速で走行しています。追い越し・追い抜きをせず、車間距離を充分にとって作業車の後を走行してください。

圧雪処理車



除雪トラック



ロータリー除雪車



高速道路における緊急時の対処法

※本線上での駐車は除雪作業の妨げにもなりません。

事故・故障などのトラブルがあった場合は、**110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)**などですぐに通報してください。

※切れたチェーンを路肩等に放置しないでください。除雪機械にからまり、作業に支障をきたす原因となります。

【非常電話】

本線上(1kmおき)、トンネル内(200mおき)、インターチェンジ、SA・PA、バスストップ、非常駐車帯に設置されており、受話器を取るだけで道路管制センターにつながります。事故や故障の状況・負傷者の有無などを伝えてください。

【道路緊急ダイヤル(#9910)】

携帯電話・スマートフォンから【#9910】をダイヤルしてください。自動音声ガイダンスにしたがって高速道路を選択すると、最寄りの道路管制センターにつながります。道路の異状や場所などを伝えてください。全国の高速道路・国土交通省が管理する国道はすべて対象となり、24時間無料で利用ができます。

※運転中の携帯電話等の使用は道路交通法により禁止されています。必ず同乗者の方から通報していただくか、SA・PAなど安全な場所に移動・停車しておかけください。

雪道の頼りは、情報のキャッチから



降雪など悪天候が予想されるドライブでは、気象と道路の正確な情報をつかんで安全運転をお願いします。

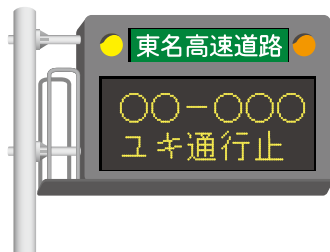
《お出かけ前に情報収集!》

冬の高速道路をご利用の際は、天気予報、交通情報などで、事前に道路の状況などをチェックしましょう。思わぬ渋滞に巻き込まれることを防ぐためにも、当日だけでなく数日前からの情報収集が大切です。また、大雪警報が発表されるなど、高速道路が通行止めになることが予想される場合は、高速道路会社のホームページで、いつからどの路線（区間）が通行止めになる恐れがあるかをおしらせしますので、お出かけをお控えください。



《高速道路の情報はココでチェック!》

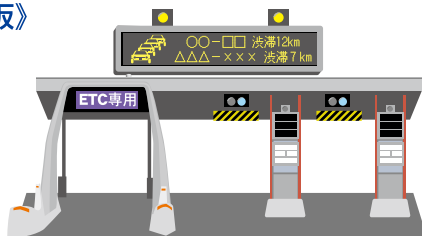
《インターチェンジ入口情報板》



情報板は現時点の道路・交通情報を的確にお知らせしています。降雪や吹雪等により高速道路が通行止めとなった場合には、一般道への迂回をお願いします。

《料金所情報板》

料金所入口ブースにあります。道路・交通情報をここでもう一度再確認。



《本線情報板》



本線上のインターチェンジ手前にあり、そこから先の道路・交通情報を表示。通行止めで「ここで出よ!」という表示がされている場合は、必ず次のインターチェンジで流出してください。例えば、その先で車が動けなくなっているため通り抜けられない等、高速道路から出るのに何時間もかかってしまう場合もあります。

《広域情報板》

本線上にあり、そこから先の広域の道路・交通情報を表示。



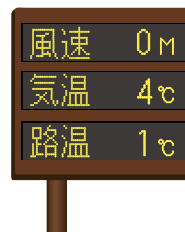
《ハイウェイラジオ》



事故・渋滞・工事・気象などの必要な道路情報を、カーラジオを通じてリアルタイムにお知らせ。

《気象情報板》

走行中の車内ではわからない風速や気温などを表示。



《可変式速度規制標識》

天候や路面の状況に応じて、規制速度が変わります。



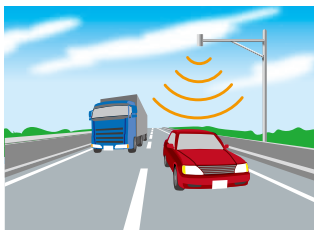
《警告板》

走行中に特に注意すべき内容を表示。





《カーナビ(VICS対応機)》



事故・渋滞・工事・気象などの必要な道路・交通情報をVICS対応のカーナビゲーションに文字や図形などで表示。

《ハイウェイ情報ターミナル》

サービスエリアではハイウェイ情報ターミナルで道路交通情報を提供しています。行き先までの渋滞情報や、通行止め情報などをご確認いただけます。



《休憩施設のインフォメーション》

高速道路やSA・PAで快適に過ごして頂くために、ご案内やお手伝いをさせていただきます。総合案内係です。お困りの事やサービスエリアのお土産やおすすめのメニューから旅のご相談まで、お気軽にお声掛けください。



《携帯・スマートフォンからでも交通情報》

全国の高速道路の交通情報や料金検索ができます。

■NEXCO東日本

ドラぷら E-NEXCO Drive Plaza

<https://www.driveplaza.com/>



■NEXCO中日本

iHighway 中日本
ハイウェイ

<http://c-ihighway.jp/>



■NEXCO西日本

iHighway 西日本
ハイウェイ

<http://ihighway.jp/>



○情報提供は無料です。
(別途パケット通信料はお客様のご負担となります。)

○道路交通法により運転中の携帯電話の使用は禁止されています。ご利用は出発前や休憩施設での駐車時、もしくは同乗者の方による操作をお願いいたします。

雪道のドライブは、状況をよみながら…

冬の気象や道路状況は刻々と変化していきます。

冬道での万が一に備えて、常に最新の交通情報と気象情報を入手し、冬用タイヤやチェーン等の冬装備を万全に細心の注意で安全運転をお願いいたします。

降雪が強くなったら、無理をせず、次のSA・PAで一息入れて様子を見ましょう。





ハイウェイテレホン(5分ごとに最新の情報を24時間案内)

●北海道			
札幌	011(896)1620	旭川	0166(54)1620
室蘭	0143(59)1620	帯広	0155(42)1620
●東北地区			
青森	017(781)1620	盛岡	019(639)1620
秋田	018(826)1620	仙台	022(711)1620
郡山	024(961)1620	山形	023(685)1620
●関東地区			
東北道・東京外環道・常磐道・関越道・上信越道・長野道等			
岩槻	048(758)1620	宇都宮	028(665)1620
柏	04(7171)1620	水戸	029(254)1620
大泉	03(3922)1620	所沢	04(2946)1620
前橋	027(252)1620	長野	026(278)1620
中央道・長野道			
八王子	042(692)1620	甲府	055(275)1620
諏訪	0266(57)1620		
千葉エリア(東関東道・館山道・東京湾アクアライン等)			
千葉	043(257)1620		
京浜エリア(第三京浜道路・横浜新道・横浜横須賀道路)			
京浜	045(780)1620		
●東名・新東名高速			
東京	03(5491)1620	川崎	044(866)1620
横浜	045(923)1620	御殿場	0550(82)1620
富士	0545(51)1620	静岡	054(288)1620
浜松	053(435)1620		
●中部地区			
名古屋	052(709)1620	豊川	0533(82)1620
岐阜	058(259)1620	四日市	059(352)1620
●北陸地区			
敦賀	0770(21)1620	福井	0776(57)1620
金沢	076(253)1620	富山	076(476)1620
上越	025(535)1620	新潟	025(286)1620
湯沢	025(784)1620		
●近畿地区			
大阪	06(6876)1620	京都	075(602)1620
大津	077(564)1620	神戸	078(903)1620
●中国地区			
広島	082(876)1620	米子	0859(37)1620
岡山	086(256)1620	浜田	0855(24)1620
山口	083(941)1620		
●四国地区			
香川	087(851)1620	松山	089(905)1620
高知	0887(72)1620	徳島	088(641)1620
●九州地区			
福岡	092(942)1620	熊本	096(275)1620
宮崎	0985(86)1620	大分	097(514)1620

はーい、ぶし

携帯から「#8162」(帰る)をダイヤルすると、おかけになった場所から最も近い地域のハイウェイテレホンにつながります。(沖縄を除く)

各高速道路会社の交通安全の取り組み

■NEXCO東日本



HEARTFUL HIGHWAY

HEARTFUL HIGHWAYプロジェクトとは、高速道路を利用されるすべてのお客様に、知ってほしいルールや気づいてほしいマナーをお伝えすることにより、お客さまとともに高速道路をもっと安全・快適な場所にしていく取り組みです。



■NEXCO中日本



NEXCO中日本「高速道路交通安全セミナー」は、「いつでもどこでも」をモットーに、安全運転のポイントをご説明する出張講座です。写真やデータを織り交ぜながら、社員がご説明します。参加人数20名程度から、会場はお申込者様でご用意ください。



■NEXCO西日本



みんなであっしょに
交通事故ゼロを目指す
プロジェクト。

「愛する人・愛してくれる人を想う気持ち」を原動力に、ドライバーの感性に訴えることで、ドライブにおける想いやりの心の輪を広げていき、交通事故を限りなくゼロへと近づけていくことを目指す取り組みです。



緊急時通報先

事故や故障の際は、安全な場所に避難してから
下記にご一報ください。(通話料無料)
110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)

高速道路情報案内

快適な高速道路のご利用を24時間係員がサポートいたします。高速道路をご利用の際、通行料金やETC割引、経路など高速道路情報の確認にご活用ください。

NEXCO東日本お客さまセンター



または

0570-024-024

03-5338-7524

NEXCO中日本お客さまセンター



PHS・IP電話のお客さま

0120-922-229

052-223-0333

NEXCO西日本お客さまセンター



PHS・IP電話のお客さま

0120-924-863

06-6876-9031

日本道路交通情報センター

道路交通情報がインターネットで見られます。

<http://www.jartic.or.jp/>

最新の道路情報についてお問い合わせを受け付けています。

- 全国・関東情報…050-3369-6600
- 北海道高速情報…050-3369-6760
- 東北高速情報…050-3369-6761
- 東北・常磐・関越高速情報…050-3369-6762
- 東名・新東名高速情報…050-3369-6763
- 中央・長野高速情報…050-3369-6764
- 新潟地方高速情報…050-3369-6765
- 東海地方高速情報…050-3369-6766
- 北陸道・東海北陸道情報…050-3369-6767
- 近畿地方高速情報…050-3369-6768
- 中国地方高速情報…050-3369-6769
- 四国地方高速情報…050-3369-6770
- 九州地方高速情報…050-3369-6771
- 沖 縄 情 報…050-3369-6647

●全国共通ダイヤル…050-3369-6666

●携帯短縮ダイヤル…#8011

※最寄りのセンターに接続します。(通話料お客さま負担)

東日本高速道路(株) / 中日本高速道路(株) / 西日本高速道路(株) / (一財)道路厚生会

疲れを感じたらSA・PAでひとやすみ

(サービスエリア) (パーキングエリア)